

## 郡上農林事務所の普及活動状況 令和4年1月31日現在

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■郡上指導農業士会 全員会議による意見交換

1月18日、郡上指導農業士会は郡上総合庁舎にて、会員全員が出席し会議を開催した。

この日は、予定していたスマート農業の視察研修会の中止に伴い、今後の運営について意見交換を行うこととなった。

会議の結果、視察研修は来年度に持ち越し、また総会は2月中旬まで様子を見たうえで、勉強会を兼ねて開催するなどを決定した。

次年度、新たに2名が指導農業士会に加入する見込みであることから、農業普及課では更なる会の活発な活動について支援を行う。



【全員会議を開催】

### ぎふ農畜水産物のブランド展開

#### ■大麦 新たな品種導入による高品質、安定生産を目指して

郡上市南部地域では、水稻の補完品目として大麦を栽培しているが、昨年度より耐雪性、耐寒性に優れる品種「ファイバースノウ」の実証ほを設置し、郡上管内での適性を確認している。さらに本年度は、収量と品質の向上を図るため、肥料を変えて試験栽培も行っている。

11月の播種以降、天候に恵まれて順調な生育であったが、年末から1月にかけての降雪によって、生育は停滞している状況にある。

農業普及課では、2年後の全面切替えに向け、寒冷地の郡上地域に適した栽培体系の確立を目指し、関係機関と連携して試験栽培に取り組む。



【雪に覆われた大麦ほ場】

#### ■ニンジン 高鷲町で「春待ちニンジン」の収穫開始

高鷲町にある(有)ひるがのラファノスが、1月25日から春待ちニンジンの収穫を開始した。

7月に播種したニンジンを通年の秋収穫とせず、雪の中で越冬させ早春に収穫することで、雪の下という状況で凍らないようデンブが糖に変わり一層甘くなる。

(有)ひるがのラファノスでは、これを「春待ちニンジン」としてブランド化し、生出荷以外にもジュースにして販売している。

本年は例年並みの積雪で、腰の高さほどある雪を重機で取り除き、1本1本丁寧に人力で抜き取っていた。

農業普及課では、春待ちニンジンに合った品種の情報提供など、引き続き地域の特産品の生産振興を支援する。



【掘り出されたニンジン】

#### ■夏秋トマト 令和4年度の栽培暦を検討

1月21日、郡上市園芸特産振興会夏秋トマト部会が、令和4年度の栽培暦検討会を開催した。

はじめに農業普及課から、本年度の栽培経過や技術実証の結果を踏まえ防除体系の変更などを提案し、次年度の暦に盛り込むこととなった。また、単価が高くなる秋以降の出荷が増えるよう栽培方法の一部見直しも行うこととした。

農業普及課では、新規就農者も加わり生産増加が期待される夏秋トマトの生産振興を引き続き支援する。